

廃棄物・ごみ

リサイクル

リユース

不法投棄

ゼロエミッション

ごみ処理施設



循環型スタイル

限りある資源の有効利用と、年々増加するごみによる不法投棄やごみ焼却によるエネルギー消費を抑えるために、ごみ排出の量の削減と適正化を行い、さらにごみの再生利用を推進します。

大学の取り組み

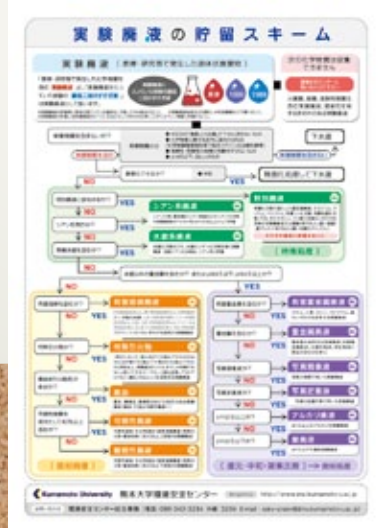
「分別の徹底」と「廃棄物排出量の定量」を行います。



産業廃棄物の分け方



ごみの分け方



実験廃液の貯留スキーム

分別ポスターの作成

「熊本大学における廃棄物処理に関する基本的事項」(2011年制定)に従って、ごみの分別方法をポスターにしました。熊本大学では、実験系・医療系の廃棄物も排出されるので、「産業廃棄物の分け方、出し方」も作成しました。

活動

1

廃棄物対策

廃 棄 物 対 策

活 動

3

古紙類収集

「古紙類」は、さらにリサイクル原料の処理方法によって「コピー用紙」、「新聞紙」、「段ボール」、「書籍類」、「雑紙」に分別しています。



シュレッダー車による機密文書の処理

活 動

2

計量機付き
ごみ収集車の導入

ごみ集積場所ごとの廃棄物、リサイクル原料の集計ができるようになりました。

計量機付きごみ収集車（パッカー車）



活 動

4

ごみ集積場所の整備

可燃物と不燃物、リサイクル原料であるアルミ缶、スチール缶、ペットボトル、びん、金属類は、全学単位で収集されているため、各地区のごみ集積場所を整備しました。



上／ごみ集積場所
ごみ集積場所は3か所以上に区切られており、そのうちの1つは可燃物用の集積場所です。この場所は、不法投棄防止のために鍵が付けられています。

左／標識

各ごみ集積場所は名前が付いており、さらに集積しているものも標識によって分かりやすくしています。

部局の活動

Environmental initiatives
of faculty



実験廃液の収集の様子

環境安全センター



センター外観

環境安全センターは、以前は実験廃液処理施設を有して、実験廃液処理の業務を主に行っていました。現在は、本学の安全管理、環境保全、化学物質管理、廃棄物管理と幅広く業務を行っています。

活動内容

- 01 教育研究活動等における安全管理及び環境保全並びに教育研究と啓発
- 02 薬品管理に関する指導と助言、啓発及び薬品管理システムの普及と運用
- 03 環境報告書の取りまとめ
- 04 廃棄物の適正な管理及び処理
- 05 水質、大気等の環境測定

黒髪北地区

環境安全センター

カンキョウアンゼンセンター

右／化学物質管理システムYAKUMOのダッシュボード

化学物質管理を効率よく行うために、大学の実情に合わせて化学物質管理支援システムを独自で開発しました。下／教養教育ベーシックの風景

学部新入生を対象に環境教育と安全教育を実施しています。



環境報告書「えこあくと」
3年連続で環境省が主催している「環境コミュニケーション大賞（環境配慮法特定事業者賞）」を受賞しました。



環境安全センター（黒髪北地区）
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 40-1
ホームページ | <http://www.esc.kumamoto-u.ac.jp>